

登園してはいけない感染症

こども園は、毎日長時間にわたり集団生活をする場であり、濃厚な接触の機会も多く、飛沫感染などによりお子さんが感染症に罹りやすい環境となります。お友達への感染を防ぐ為にも下記表を把握していただき、登園に際しては、下記の配慮をお願いします。

★完治証明書(様式3)が必要です。医療機関にて医師に記入して頂きます。

感染症名	登園停止期間	○主要症状◎感染しやすい期間
★麻疹(はしか)	解熱した3日を経過するまで	○発熱・食欲不振・口内皮膚に赤い湿疹、2～3日後全身に湿疹 ◎発疹1日前から発疹出現後の4日後まで
★風疹	発疹が消失するまで	○発熱・発疹・耳のリンパ線が腫れる ◎発疹出現の前7日から後7日間くらい
★水痘(水ぼうそう)	すべての発疹がかさぶた形成するまで	○発熱・顔・手・胸等にあわ粒、頭髮の中にも水泡ができる ◎発疹出現1～2日前からかさぶた形成まで
★流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	耳下腺の腫瘍が消失するまで	○発熱・耳たぶの下が腫れる ◎発疹3日前から耳下腺腫脹後4日
★百日咳	特有の咳が消失し、全身状態が良好であること(抗菌薬を決められた期間服用する。5日間服用後は医師の指示に従う)	○咳は夜間に出ることが多く、息を吸うとき笛のような音が聞こえる ◎抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで
★流行性結膜炎	感染力が非常に強いいため、結膜の症状が消失するまで。又、医師において伝染のおそれがないと認めるまで	○白目の充血・まぶたの裏側が腫れる。目脂が多く出る。 ◎充血、目やに等症状が出現した数日間
★結核	感染のおそれがなくなるまで	○2週間以上続く咳・痰・体のだるさ・体重減少
★咽頭結膜熱(プール熱)(アデノウイルス)	主な症状が消えてから2日経過するまで	○夏風邪の一種で結膜炎をおこす。結膜炎は伝染する ◎発熱、充血等症状が出現した数日間
★腸管出血性大腸菌(O157等)	症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されるまで	○腹痛と水様性の下痢、重症化すると血便も
★コレラ、細菌性赤痢腸チフス、パラチフス、ウイルス性肝炎など	治癒するまで	○下痢・おう吐・無症状の場合もある

◇登園許可書（様式4）が必要です *保護者が記入

感染症名	登園停止期間	○主要症状◎感染しやすい期間
◇ 溶連菌感染症	抗菌薬内服後24～48時間経過していること	○発熱・のどの痛みや腫れ・関節の痛み ◎適切な抗菌治療を開始する前と開始後1日間
◇ マイコプラズマ肺炎	発熱や激しい咳が治まっていること	○発熱・咳・くしゃみ・鼻づまり・咽頭の痛み・筋肉痛 ◎適切な抗菌治療を開始する前と開始後数日間
◇ 手足口病	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること	○湿疹・口内炎が消えるまで、発熱を伴うことがある ◎手足や口腔内に水泡・潰瘍が発症した数日間
◇ 伝染性紅斑（リンゴ病）	全身状態が良いこと *日光刺激により、経過が長引く場合があります。園では外遊びなどの活動が避けられない為、可能な方は家庭保育の協力をお願いします	○鼻を中心に左右対称な鮮やかな紅斑ができ微熱がある ◎発疹出現前の1週間
◇ ウイルス性胃腸炎、おう吐下痢症（ノロ、ロタなど）	おう吐、下痢などの症状が治まり、普段の食事が摂れること	○おう吐・下痢・腹痛・発熱 ◎症状がある間と、症状消失後1週間は減少していくが数週間ウイルスを排出しているため注意が必要
◇ ヘルパンギーナ	発熱や口腔内水泡・潰瘍の影響がなく、普段の食事が摂れること	○発熱・喉の痛み・口内の水ぶくれ ◎急性期の数日間（便の中に1ヵ月程度ウイルスを排出しているため注意が必要）
◇ RSウイルス感染症	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと	○発熱・鼻水・咳 ◎呼吸器症状のある間
◇ 帯状疱疹	すべての発疹がかさぶたになっていること	○皮膚のかゆみ・痛み・水ぶくれを伴う赤発疹 ◎水泡を形成している間
◇ 突発性発疹	解熱し機嫌がよく、全身状態が良いこと	○高熱が3日間ほど続いた後、解熱とともに鮮紅色の発疹が出現する
◇ 急性出血性結膜炎（アポロ熱）	眼症状が消失し、伝染の恐れがないこと	○目の痛み・充血・まぶたの腫れ ◎眼症状が出現した数日間
◇ 伝染性皮膚炎（とびひ）	皮疹が乾燥しているか、湿潤部分が被覆できる程度のものであること	○えんどう豆大の水泡が発生し破れてただれる ◎湿潤な発疹がある間

◆治癒証明書（様式5）が必要です *保護者が記入

◆ インフルエンザ	症状が始まった日から5日以内に症状がなくなった場合は、症状が始まった日から5日目まで、又は解熱した後、3日を経過するまで	○発熱・咳・くしゃみ・鼻づまり・咽頭の腫れ・筋肉痛など ◎症状がある期間（発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い）
◆ 新型コロナウイルス感染症	発症後5日間	○のどの痛み・発熱・咳・痰・鼻水など ◎発症した後5日を経過しかつ症状が軽快した後1日を経過すること（無症状の感染者の場合は検体採取日を0日目として、5日経過すること）

*園にて37.8℃を超えた場合、お子様の状態を見て念のため連絡をします（熱性けいれんがある場合は、37.5℃を超えた時）

*38.0℃を超えた場合はお迎えに来て頂きます。また、感染症の疑いがある症状が出現した場合は、医療機関へ受診していただきます。

*一覧表に記載された感染症と診断された際は、必ずその日のうちに園へご連絡ください。

*上記はあくまでも目安となり、お子様の状態によってはお迎えや休養をお願いすることがありますのでご了承ください。

登園許可書

園児名 _____ 平成 _____ 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日生まれ

住所 _____ 男 女

病名 _____

上記の者は、令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日～ _____ 月 _____ 日まで
自宅安静・通院加療を要しましたが、伝染病予防上支障がないと
認めためたので、登園を許可願います。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

保護者氏名 _____

完治証明書

園児名 _____

令和 年 月 日生まれ

住所 _____

男 女

上記の者は下記○印、学校伝染病が軽快し、かつ、学校保健法の基準により伝染病の予防上、支障がないと認めたので登園を許可します。

尚、令和 年 月 日～ 月 日まで自宅安静・通院加療をしました。

記

- 1 麻疹【はしか】 (解熱した3日を経過するまで)
- 2 風疹【三日はしか】 (発疹が消失するまで)
- 3 水痘【水ぼうそう】 (すべての発疹が痂皮化するまで)
- 4 流行性耳下腺炎【おたふく】 (耳下腺の腫瘍が消失するまで)
- 5 百日咳 (特有の咳が消失するまで)
- 6 流行性結膜炎 (医師において伝染のおそれがないと認めるまで)
- 7 結核 (感染のおそれがなくなるまで)
- 8 咽頭結膜炎【プール熱】 (主な症状が消えてから2日経過するまで)
- 9 腸管出血性大腸菌【O157】 (菌陰性が確認されるまで)
- 10 その他【コレラ、細菌性赤痢腸チフス・パラチフス・ウイルス性肝炎など】

令和 年 月 日

住所

医療機関名

医師名

印

治癒証明書

園児名 _____ 平成 _____ 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日生まれ

住所 _____ 男 女

_____ に感染していると診断されました。

臨床診断

簡易キット	使用なし	使用あり
-------	------	------

症状出現日：令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

診断日：令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

医療機関名：

※下記の通り、医師の指示のもと _____ 日を経過しましたので、出席停止措置の中止を
お願い致します。

体温測定日	測定時間(午前)：体温	測定時間(午後)：体温
月 日	時 分： °C	時 分： °C
月 日	時 分： °C	時 分： °C
月 日	時 分： °C	時 分： °C
月 日	時 分： °C	時 分： °C
月 日	時 分： °C	時 分： °C
月 日	時 分： °C	時 分： °C
月 日	時 分： °C	時 分： °C
月 日	時 分： °C	時 分： °C
月 日	時 分： °C	時 分： °C
月 日	時 分： °C	時 分： °C

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

保護者氏名 _____